



❖ 第2回 学校運営協議会(7/14)が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の中での教育活動が求められる中、第2回学校運営協議会が福岡小学校の会議室で行われました。会場では検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンスが徹底されました。



【会議内容①】1学期の報告

1学期の教育活動報告では、体温

体調チェックアプリ「リーバー」を使った健康観察や、体育や音楽での教育活動における感染症対策の工夫について説明がありました。地域協働学校の推進として、昨年度からの花ボランティアのほかに、図書ボランティアや学習ボランティアなど、多様な取り組みが報告されました。

【会議内容②】2学期以降の行事等の変更について

2学期以降の行事等の変更については、会議開催時点での検討内容が報告されました。高学年の宿泊学習や運動会など、大きく見直して安全な開催を目指すというお話でした。会員からはマスクの装着についての意見や、「万全の対策の下で、ぜひ児童が悲しまないような結果を望む」という声が聞かれました。



【会議内容③】自治体の活動報告

最後に、各自治体から活動の報告がありました。感染症の状況を踏まえ、盆踊りや夏祭りなどの中止が多くありましたが、一方、ラジオ体操などの密になりにくい行事が企画されているようでした。例年12月頃行っている餅つきについては実行できたらいいという声が多く聞かれました。作品展や演奏会など、多彩な行事の企画が報告され、いち早い感染の終息を願うばかりです。

